










診療計画説明書

陰嚢水腫根治術

終了基準	発熱がない / 傷に問題がない				
経過	入院日・手術前日	手術当日前	手術当日後	術後1日目	術後2日目～退院まで(術後3日目)
月日	/	/	/	/	/ ~ /
達成目標	・手術について理解できている。	・腰椎麻酔後遺症の頭痛・嘔気がない。 ・傷に問題がない。 ・尿の管より流出がある。 ・尿の色が濃い赤にならない。 ・痛みのコントロールができる。			・尿の管を抜いた後の尿の色が普段と変わらない ・排尿困難がない。 ・痛みのコントロールができる。  ・日常生活の注意点について理解できる。
検査 処置	・入院前に外来で検査します。 ・身長、体重・心電図、レントゲンの検査があります。 ・ストッキングのサイズを測ります。 ・必要時、除毛します。 ・名前を確認するためのバンドを右手に巻きます。	・弾性ストッキングを履きます。 ・時計、指輪、入れ歯をはずして、手術用に準備された寝衣に着替えてください。	・歩行と同時にストッキングが脱げます。 	・退院の際、名前を確認するためのバンドをはずします。	
薬剤	・必要であれば、寝る前に下剤、眠剤を希望できます。 ・内服中の薬があれば、医師、看護師にお知らせください。 	・医師より内服指示があれば、朝7時に内服していただきます。 ・点滴をするための針を腕に入れ、朝から点滴をします。 ・点滴をしながら手術室へいきます。	・手術後点滴をします。 	・夕方の点滴が終了したい、点滴の針を抜きます。 	
食事	・常食または治療食が出来ます。	・絶飲食です。	・帰室後、許可が出れば4時間後より水分のみ開始となります。それまで絶飲食です。 ・のどが渴けば、うがいはできます。	・朝から常食または治療食が出来ます。 	
安静度	・病院内であれば、自由です。	・病棟内のみ自由です。	・翌朝までベッド上安静のため、頭を上げたり、座ったり、歩行することはできません。 ・寝返りをうつことはできます。	・病棟内を歩くことができます。 	
排泄			・尿の管がはいっています。 ・排便がしたい場合は、お呼びください。ベッド上安静のため、ベッド上にて差込便器を使用していただきます。	・経過をみて尿の管を抜きます。 ・歩いてトイレに行くことができます。 ・午前中に体を拭きに伺います。 ・尿の管が抜けたいシャワー浴可となります。 	
清潔	・シャワー浴をしてください。爪をきってください。				
指導 説明	・入院生活の説明 ・手術についての説明 ・手術承諾書を提出してください。 ・手術に必要な物品を確認します。 ・ご不明の点は主治医、看護師にお尋ねください。 	・手術後の説明 ・尿道に管が入っているので、管の刺激で尿道が痛むことがあったり、おしっこがしたい感じや、排便がしたい感があったりしますが、我慢せずにお知らせ下さい。 ・麻酔を使用しているため、頭痛や吐き気がすることがあります。 ・その際には痛み止め、吐き気止めを使用しますのでお知らせください。			

※病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わります。  
※入院期間や治療内容は現時点で予想できるものであり、症状により変わります。